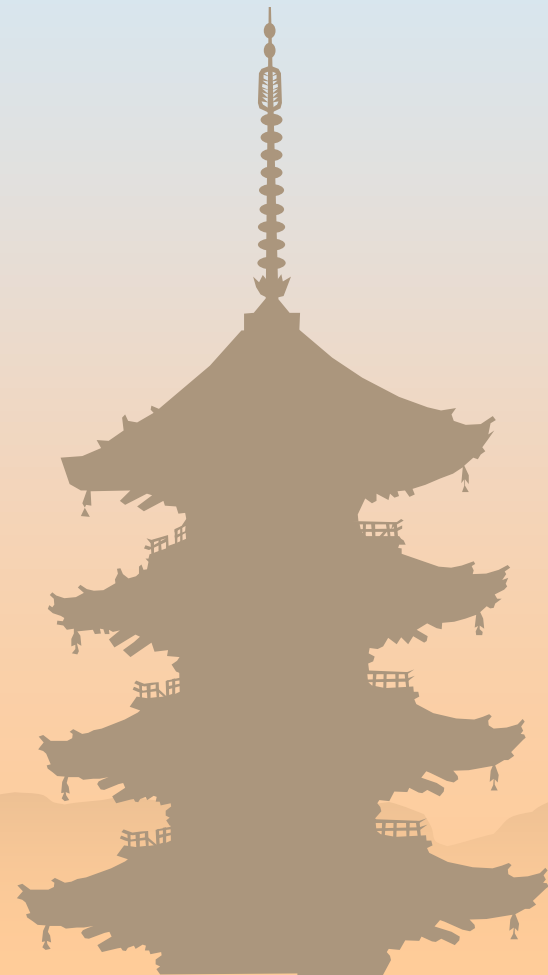


瀧山巡拝

平成28年10月16日
真言宗単立寺院 青蓮庵
岩田慈観



自己紹介

- ❁ 名前：岩田慈観(いわた じかん)
- ❁ 昭和43(1968)年東京都生まれ
- ❁ 両親は山形市出身
- ❁ 小学校～高校までを山形市で過ごす
 - 東原町→緑町→東山形(西蔵王高原道路入口)
- ❁ 子供の頃から仏像、寺に親しむ
- ❁ 特に思想としての仏教に興味を持ち、大学で「インド学仏教史」を専攻



インド学研究

- ❁ 所属：東北大学 文学部 哲学科 インド学仏教史学専攻
- ❁ 原始仏教からインド・チベット仏教、インド哲学各派の思想を学ぶ
- ❁ 卒業論文：『近代インド思想家の研究：Vivekanandaを中心に』（1992年東北大学）
- ❁ 「古典を古典として研究するのではなく、現代人としての我々と近い感覚を持つ近代のインド思想家を入り口として、インド哲学の古典を読み解く端緒とする」



インド学研究から意識研究へ

- ❁ →「神秘体験」に依拠するインド哲学（仏教を含む）の世界観
- ❁ 「神秘体験」の中心：「自己意識」の変容
- ❁ 文献学的手法の限界
- ❁ 仏教における修行体験を普遍的な視点から捉えたいと思い、変性意識研究を志し、大学院は情報科学研究科に進学



意識と脳の研究

- ❁ 所属：北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 知能情報処理学専攻
- ❁ 意識状態の変容と脳活動について研究
- ❁ フィールド：意識変容の事例：感覚遮断時の幻覚様体験、自覚夢様体験
- ❁ 「フローテーションタンク」による感覚遮断
- ❁ 方法：睡眠中の夢見と感覚遮断環境における意識変容の比較
- ❁ 脳波（脳活動の指標）と心拍変動（自律神経系の活動の指標）を睡眠中と感覚遮断中で比較



フローテーションタンク



❁ 大きさ・材質:

2.4 x 1.4 x 1.2m, 合板・発泡スチロール製

❁ 溶液: MgSO_4 水溶液

深さ約30cm, 比重: 1.25g/cm^3 , 温度: $34.5 \pm 0.3^\circ\text{C}$.



感覚遮断下の意識の変容と脳活動

- ❁ 結論：感覚遮断環境下での視覚的イメージ体験時、脳活動・自律神経系の活動とも、REM睡眠時の状態と類似している
- ❁ しかし、全くREM睡眠時と同じではなく、感覚遮断により「第3の状態」に導かれる
- ❁ 博士論文：『感覚遮断環境におけるヒトの脳波と心拍のダイナミクスと意識の状態に関する研究』（2000年北陸先端科学技術大学院大学）



脳科学研究時代

- ❁ 博士号取得後、研究員として大学・研究機関にて研究を進める
 - 東北大学大学院 情報科学研究科 生体情報学研究室
 - 東北大学 未来科学技術共同研究センター 脳機能イメージング研究分野
 - 情報通信研究機構 未来ICT研究センター CREST脳機能イメージングチーム
- ❁ 「変性意識研究」は方法論的に困難。個人的に研究・調査を進めつつ、オフィシャルには脳波・機能的MRI・近赤外線分光法による脳機能画像研究の方法論に関する研究を行う
- ❁ 著書(共著・分担執筆):「脳高次機能イメージングとその将来」, 福田寛・編,『脳の形態と機能:画像医学の進歩』.新興医学出版社(2005年)

脳科学者から密教僧へ

- ❁ 35歳になる頃(2004年頃)から、脳科学からの意識の研究から、自分自身の体を使って意識の諸相を探求すべき時との思い
 - 脳を外から観察しても体験者本人の内的世界はわからない
 - 自分自身が体験し、深めていかなければならない
- ❁ 方法論：密教の修法(しゅほう)の実践
- ❁ インド学研究室時代のつてを辿り、高野山へ



密教僧としての活動

- ❁ 2005年、高野山別格本山大圓院にて得度
- ❁ 2006年、四度加行成満、伝法灌頂入壇（密教行者としてのスタート）
- ❁ 2007年、京都・上賀茂に自坊・青蓮庵 開庵



白坊：青蓮庵（しょうれんあん）



- ❁ 本尊：多羅菩薩（ターラ—菩薩）
 - 観音さんの慈悲の結晶
 - 十一面観音と並んで水の観音さん
- ❁ 白坊は一般非公開
- ❁ 白坊での修法、並びに訪問にて御供養・御祈願を行う
- ❁ 本尊供養法一千座を越える
- ❁ 他、法縁の寺院の助法
 - 岡山、福井、過去に神戸、奈良
- ❁ 現在地：京都・嵯峨野



水巡り



- ❁ 白山を起点として、若狭から京都、奈良、熊野へと水にまつわる神社、寺院が並んでいる
- ❁ 水の聖地を巡るお参り:「水巡り」
- ❁ 得度前、2002年頃から仕事の合間に繰り返し巡る
- ❁ その過程で得度してしまったという側面も
- ❁ 仕事の合間の「お参り」から、「お参り」が中心の人生へ
- ❁ 「中の人」にならないといけない



- ❁ 若狭、京都、奈良、熊野と、「南下する水の道」
 - 若狭の遠敷明神が奈良・東大寺二月堂の十一面観音に水を送る(若狭井)
- ❁ 熊野から伊勢、伊勢から白山に環流することに気づく
 - 白山を起点(水源)とし、若狭、京都、奈良、熊野、伊勢、そして白山へと「円環をなす水の道」
- ❁ 水巡りと、自坊での修法を通じて、宇宙に水を廻らすのが私の仕事



山形の「山の力」

- ❁ 関西には、吉野・大峰・熊野など有名な山岳修験の場がある
- ❁ しかし、密教僧の眼で改めて山形の山を見た時、山形の山にはまた違ったカミ・ホトケがおられることを感じる
- ❁ 山形の山には山形の「山の力」がある
- ❁ 古代の靈山寺の存在を知る→瀧山との「再会」
- ❁ 瀧山に十一面観音を感じる
- ❁ 「瀧山の十一面観音さんを御供養したい！」



水と十一面観音



- ❁ 十一面観音は水を司る仏
 - しばしば水源の神として祀られる
 - 他、除病等の功德
- ❁ 奈良県桜井市・聖林寺
 - 元・大御輪寺本尊・三輪山の本地仏
- ❁ 東大寺二月堂
 - 二月堂修二会:「お水取り」
- ❁ 白山の本地仏
 - 養老年間、泰澄大師による開山

瀧山と十一面観音

- ❁ 古来、水源の山「四十八瀧」
- ❁ 新福山石行寺本堂・観音堂（岩波観音）
- ❁ 蔵王半郷・松尾山観音堂
- ❁ 瀧山山頂「瀧山権現堂」には現在十一面観音が納められているという
 - 参考：慈覚大師は瀧山権現の本地仏は薬師如来とした
- ❁ 本日ここでは、十一面観音を瀧山に宿る仏、本地仏としてお祀りした



瀧山の歴史

- ❁ 和銅元(708)年、行基菩薩による開山
- ❁ 仁寿元(851)年、慈覚大師による再興
 - 霊山寺(りょうぜんじ)の開山
 - 参考:山寺(立石寺)は貞観2(860年)開基
 - 石行寺:和銅元(708)年行基菩薩の開基、貞観2(860)年慈覚大師による再興とされる
- ❁ その後霊山寺は龍山寺と名を変える
- ❁ 正嘉2(1258)年北条時頼により閉山
- ❁ 龍山寺はさらに瀧山寺と名を変え、桜田に下る
- ❁ なお、霊山寺→龍山寺→瀧山寺の寺号の変化の時期については諸説あり



巡拝を振り返る

- ❁ 元木の鳥居
- ❁ 新福山石行寺(岩波観音)
- ❁ 三百坊の鳥居
- ❁ 羽龍沼
- ❁ 出壺
- ❁ 飯田の棚田



巡拝を振り返る



元木の鳥居

- ❁ 「御立の鳥居」とも呼ばれる
- ❁ 平安・鎌倉期の瀧山の全盛期の建立と思われる
- ❁ 天延(973～76年)の頃の造立の言い伝え
 - 藤原時代(894～1185年)末期の造立と推定
 - 参考:成沢の鳥居 天仁元(1109)年建立
 - 元木の鳥居と同時代の説
- ❁ 古来、瀧山への登拝口
 - 瀧山への登拝口:元木、成沢、etc





御立湯

新福山石行寺（岩波観音）

- ❁ 石行寺 和銅元(708)年 行基菩薩の開基、貞観2(860)年慈覚大師による再興という伝
- ❁ 霊山寺、古・瀧山寺の魂を受け継ぐ
- ❁ 現時点で、瀧山山麓の仏教文化の中心的な位置づけ





三百坊鳥居

- ❁ 鳥居自体は江戸末期、慶応2(1866)年建立
- ❁ 霊山寺の堂宇の礎石跡？
- ❁ 里と聖域の境界









羽龍沼

- ❁ 宝暦13(1763)年築造
 - 「宝暦5年の大飢饉」山形も被害
 - 老朽化に伴い平成5年度～13年度再整備
- ❁ 慈覚大師が沼のほとりで雨乞いの祈禱を修したところ、「沼より羽のある龍が天空に舞い登り雨を降らせ山奥に消えた」とする伝説
- ❁ 沼の東岸に普潤碑・請雨塔(通称「雨乞い塔」)
 - 安永7(1778)年の干魃の際、村人が雨乞いをしたが効果がなく、代わって萬松寺住職が雨乞いの祈禱を3日3晩修すと雨が降り田畑を潤したという
- ❁ 瀧山地域の多数の湖沼の中でも有数の貯水量を誇る





羽龍沼・請雨塔(雨乞い塔)



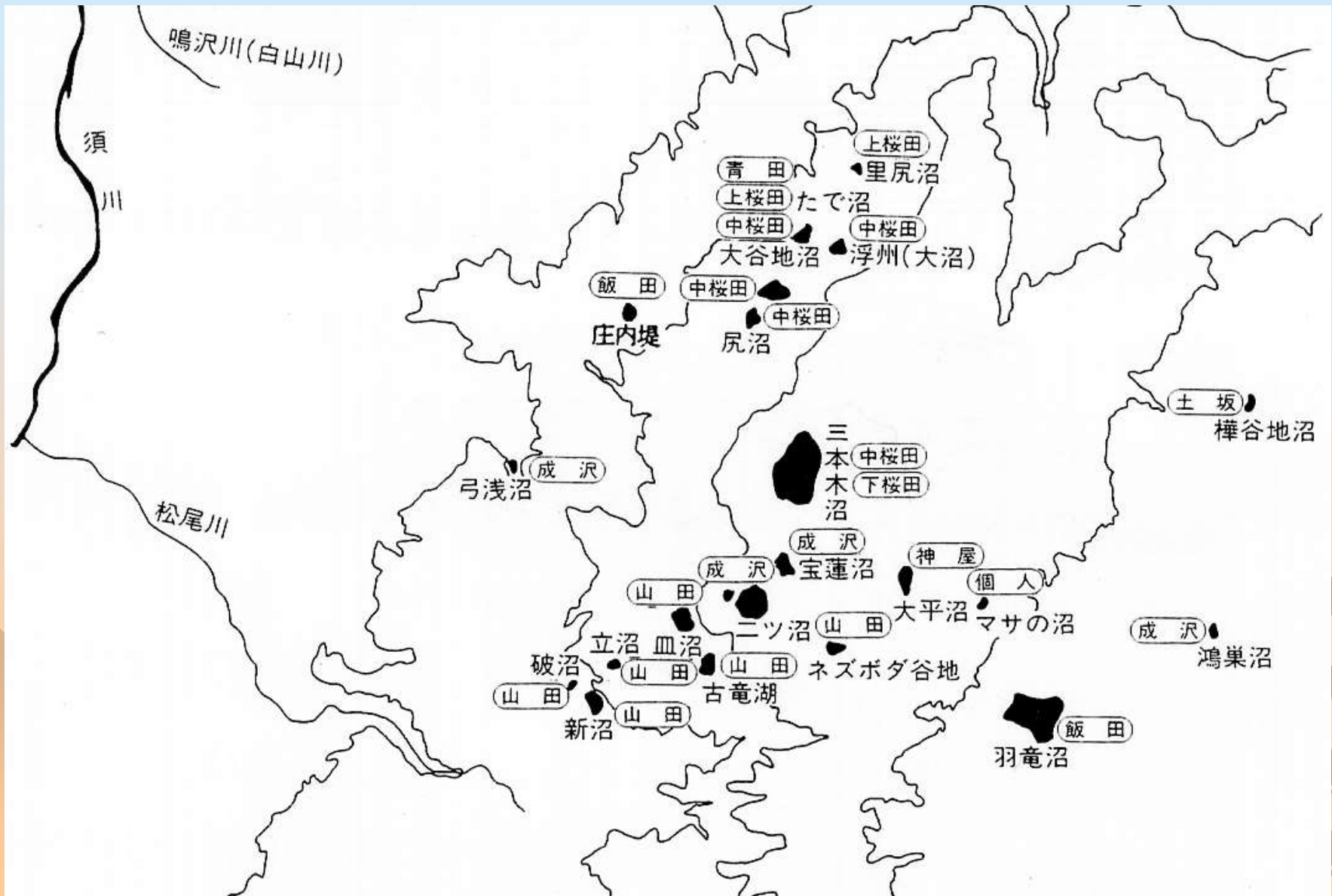




請雨塔

請雨塔

瀧山地域の湖沼と水利権



出壺

- ❁ 瀧山の伏流水が杉の大木の根元から湧き出す
- ❁ 羽龍沼からの水路と合流し、途中三本木沼に分流しつつ、飯田地区に流れる水源
- ❁ 毎年5月3日、飯田地区主催で水神のお祭り









飯田の棚田

- ❁ 羽龍沼・出壺からの水を引く
- ❁ 瀧山からの「恵み」が目に見える形で顕れる場所



















本日の瀧山巡拝コースの趣旨



本日の瀧山巡拝コースの趣旨

- ❁ 元木の鳥居：古来の瀧山登拝の出発点
- ❁ 岩波観音：靈山寺の魂を受け継ぐ石行寺にて靈山寺の十一面観音に参拝
- ❁ 三百坊鳥居：靈山寺跡にて瀧山を遙拝
- ❁ 羽龍沼・出壺：瀧山地域の主たる水源
- ❁ 理趣三昧法要：瀧山の十一面観音を讃え、更に恵みを垂れ給わんと祈る
- ❁ 飯田の棚田：瀧山の恵みが目の前に顕れる場所



山形と瀧山

- ❁ 「十一面観音」も仮の呼び名。瀧山の霊力の一側面、一つの認識の仕方に過ぎない
- ❁ 私たちは意識するしないに関わらず、瀧山の霊力に護られて生きている
- ❁ 東の瀧山・蔵王山、西の葉山、月山
→ 山形は靈山に囲まれる地
- ❁ 時に厳しくも我々を見護る、目に見えない山の「力」に思いを向けていきたい



参考文献

- ❁ 『山形市史・上巻 原始・古代・中世編』(1973年)
- ❁ 『山形市史・中巻 近世編』(1971年)
- ❁ 山形県総合学術調査会・編、『蔵王連峰：総合学術調査報告』(1985年)
- ❁ 『瀧山の歴史』編集委員会・瀧山郷土史研究会・編、『瀧山(たきやま)の歴史』(2002年)



協力

新福山般若院石行寺(岩波観音)

滝山交流センター

滝山地区郷土史研究会 新関昭男氏

飯田地区水利組合 山口康夫氏

地藏寺(山形市片谷地)

山形市野草園

後藤芳郎氏



企画協力

本間章氏
結城昌明氏



連絡先

真言宗単立寺院 青蓮庵

住職 岩田慈観

〒616-8414

京都市右京区嵯峨大覚寺門前八軒町17-4

アークハイツ嵯峨嵐山403

TEL/FAX: 075-432-8250

E-Mail: shoren-an@mbe.nifty.com

URL: <http://shoren-an.com>

